

まちをつくり、守る！建設業

やまぐち

山口県の建設業の魅力を発信！

けんせつ 新聞 第6号

令和3年2月

「やまぐちけんせつ新聞」は、みんなの身近なところにあるけれど、あまり知られていない建設業の役割や魅力などを紹介していく新聞です。

「建設業の仕事」には、道路やトンネルをつくる仕事、家を立てる仕事など色々な仕事がありますが、大切な仕事の一つに「地域を守る仕事」があります。

私たちのまちは建設業の方々に守られていることを知っていますか？

今号では、「地域を守る建設業」について紹介します！



現在の仕事内容

道路や橋の補修など、土木工事の現場で、スケジュールの調整や工事に係る業者さんとの打ち合わせ、品質・安全面の管理を行っています。また、近隣住民の方々への説明や市役所等に提出する書類の作成も行います。

苦労したことは？

入社して1年目の頃は、道具や作業の名前も分からなかったので、いつもメモ帳を持って、先輩や業者さんの会話を書き留めていました。あの頃の経験が、今の自分の役に立っています！

災害時の心がけ

災害時はどうしても気持ちちはやってしまうので、まず落ち着いて行動するよう心がけています。復旧工事の際は、路肩など崩れやすい箇所にもつも以上に注意を払い、2次災害を予防します。

土木施工管理



仕事のやりがい

工事の進行に合わせて、日々景色が変わっていくワクワク感や、物ができあがったときの達成感が、この仕事のやりがいです！

まちづくりのプロにインタビュー！

石崎 電海さん
株式会社ミヤベ
入社5年目
岩国工業高校卒

災害時にすぐ駆けつける!!

テレビで消防隊や自衛隊などが救助活動をしている映像の中にシヨベルカーなどの重機が映っていることに気付いたことはありませんか？災害が発生し、土砂などで道路が通れなくなると、消防車や救急車も被害現場へ駆けつけることができません。そこで、すぐに駆けつけるのが、地元の建設業者です！倒れた木や流れ出した土砂を撤去し、道路を通れるようにします。地域のことをよく知っている地元の建設業者は、わたしたちにとって大切な存在です。



携わった災害復旧現場です！ 保木川護岸災害(岩国市)



